

職業実践専門課程の基本情報について

学 校 名	設置認可年月日	校 長 名	所 在 地			
日本コンピュータ専門学校	昭和58年10月15日	瓶 井 修	〒533-0014 大阪市東淀川区豊新1-21-22 (電話) 06-7506-9053			
設 置 者 名	設立認可年月日	代 表 者 名	所 在 地			
学校法人瓶井学園	昭和58年9月26日	瓶 井 剛	〒533-0011 大阪市東淀川区大桐2-6-6 (電話) 06-6329-6553			
目 的	高度情報化社会を根幹から支えるコンピュータシステムの開発エンジニアを育成するために専門的かつ実践的な授業を行い、即戦力として働ける人材を育成することを目的とする。					
分野	課程名	学科名	修業年限 (昼、夜別)	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	専門士の付与	高度専門士の付与
工業	工業専門課程	情報処理システム科 Aコース	2年(昼)	1920単位時間 (又は単位)	平成7年1月23日 文部科学大臣 告示第7号	-
教育課程	講義	演習	実験	実習	実技	
	単位時間 (又は単位)	単位時間 (又は単位)	単位時間 (又は単位)	単位時間 (又は単位)	単位時間 (又は単位)	単位時間 (又は単位)
生徒総定員	生徒実員	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
80人	8人	5人	6人	11人		
学期制度	■前期：4月1日～9月30日 ■後期：10月1日～3月31日			成績評価	■成績表 (有)・無) ■成績評価の基準・方法について年4回実施される定期試験の結果と課題、演習、実習成果等で評価	
長期休み	■学年始め：4月11日 ■夏 季：7月21日～8月31日 ■冬 季：12月25日～1月7日 ■学 年 末：3月20日			卒業・進級条件	試験等に合格し、本校所定の過程を修了した者	
生徒指導	■クラス担任制 (有)・無) ■長期欠席者への指導等の対応 保護者への連絡し、可能な場合は、三者面談、家庭訪問等を行っている。			課外活動	■課外活動の種類 ■サークル活動 (有)・無)	
就職等の状況	■主な就職先、業界等 ■就職率*183.3% ■卒業者に占める就職者の割合*288.3% ■その他(任意) (平成27年度卒業者に関する平成28年3月時点の情報)			主な資格・検定	基本情報技術者試験、CCNA、LPIC ORACLE MASTER、OCJP、情報検定 ITパスポート試験	

中途退学の現状	<p>■中途退学者 1名 ■中退率 12.5%</p> <p>平成26年4月 1日在学者 8名（平成25年4月入学者を含む） 平成27年3月31日在学者 7名（平成26年3月卒業生を含む）</p> <p>■中途退学の主な理由 進路変更、学業不振、学校生活不適應</p> <p>■中退防止のための取組 欠席者には、本人と連絡を取り、欠席理由を確認し、欠席が続く場合は、面接等を実施し、学習意識向上させるために目標設定などの指導をしている。</p>
ホームページ	URL: http://www.ncp.ac.jp/

※1「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職（内定）状況調査」の定義による。

①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものとする。

②「就職率」における「就職者」とは、正規の職員（1年以上の非正規の職員として就職した者を含む）として最終的に就職した者（企業等から採用通知などが出された者）をいう。

③「就職率」における「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含まない。

※「就職（内定）状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等としている。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除いている。

※2「学校基本調査」の定義による。

全卒業生数のうち就職者総数の占める割合をいう。

「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいう。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしない（就職したか就職先が不明の者は就職者として扱う。）

1. 教育課程の編成

(教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針)

企業・業界団体と連携し、最新の知識・技術を反映し、企業ニーズに合う教育カリキュラムや教育内容を設定する。また、教育内容に沿った教材等を開発し授業で実施する。
年度内に数回の学生アンケートを実施し、教育カリキュラムや教育内容、教材、教育方法等に問題があるようであれば、職員会議や教育課程編成委員会で検討して、具体的な改善策を検討する。その結果にもとづいて学生との面談を行い、速やかに対応し学習意欲を低下させない工夫をする。

(教育課程編成委員会等の全委員の名簿)

平成28年 3月31日現在

名 前	所 属
瓶井 修	日本コンピュータ専門学校 学校長
西坂 公典	日本コンピュータ専門学校 教務部長心得
小林 一男	日本コンピュータ専門学校 教務課長
芦田 治彦	日本コンピュータ専門学校 主事
三木 喬史	ウェブレイス
小幡 忠信	HISCO (ハイテクノロジー・ソフトウェア開発協同組合) 理事長
池永 靖	日本気象株式会社 教育事業チーム ティームリーダー
久下 直彦	株式会社アイ・ピー・エス 取締役執行委員
西川 貴史	株式会社セブン
吉村 昌晃	合同会社 翔エンターティメント 代表社員
稲泉 綾二	大阪国際大学 現代社会学部 情報デザイン学科 教授
増南 正	有限会社 スタジオ・マックス 代表取締役

(開催日時)

第1回 平成27年 8月29日(土) 10:30~12:00

第2回 平成28年 3月19日(土) 10:00~11:30

2. 主な実習・演習等

(実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針)

企業等と連携し、実習・演習等で実施する内容を打ち合わせし、学校では学べない企業ニーズに即した

実習・演習等を行うことができ、より実践的な技術力を養うことを基本方針とする。

また、就職活動で実習・演習等を受けたことで優位に働くことを期待する。

科目名	科目概要	連携企業等
インターンシップ	学校では学べないビジネスマナーや実践的な業務に従事し、社会人としての実践力を身に着けます。	株式会社リングス ウェブレイス 株式会社アップスタート
オブジェクトプログラミング I	オブジェクト指向プログラミングについて企業ニーズに合わせた言語を使用して基礎から実践的にプログラミングをしていく。現在は、言語に Javascript を使っている。	株式会社アップスタート 株式会社ウィズツーワン

3. 教員の研修等

(教員の研修等の基本方針)

教育の質向上のために必要な知識・技術・技能などについて該当する担当教員に研修を受けさせ教授力向上と学生指導等の指導力向上に関する研修に参加させ指導力向上を図ることを基本方針とする。研修を受けることで学生の学習意欲の向上を図り、退学者、欠席者をなくし、就職へと導く。

4. 学校関係者評価

(学校関係者評価委員会の全委員の名簿)

平成28年 3月31日現在

名 前	所 属
瓶井 修	日本コンピュータ専門学校 学校長
西坂 公典	日本コンピュータ専門学校 教務部長心得
蔵敷 重壽	元大阪市立都島工業高等学校 校長
建山 和徳	ウェブレイス 代表
吉村 昌晃	合同会社 翔エンターテイメント 代表社員
久下 直彦	株式会社アイ・ピー・エス 取締役執行委員
増南 正	有限会社 スタジオ・マックス 代表取締役

(学校関係者評価結果の公表方法)

URL:<http://www.ncp.ac.jp>

5. 情報提供

(情報提供の方法)

URL:<http://www.ncp.ac.jp>

授業科目等の概要

(工業専門課程 情報処理システム科 Aコース) 平成27年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時数	単 位 数	授業方法		
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験・ 実 習・ 実 技
○			数学	情報処理技術者にとって必要な線形代数、確率・統計の基礎事項について、高校までの数学を前提とせず、平易かつ具体的な展開で進めていきます。また十分な演習を行い、IT技術への応用力を高めることを目的とします。	1 通	60	2	○		
○			現代社会論	現代社会のコンピュータシステム事情を学び、コンピュータ上で扱うデータやプログラム等の著作権、意匠権、特許法について学習します。	1 通	60	2	○		
○			英語	コンピュータに関する英文の読解力に必要な基礎学力を学習します。この目標を達成するために、英語検定試験問題による演習も行います。	1 通	60	2	○		
○			コンピュータ概論	コンピュータの各部分の名称とその役割、そしてそれらの中で何がどう動いているのか、その全体像を把握するために、ハード・ソフトの両面からコンピュータを詳しく学んでいきます。また、国家資格の基本情報技術者試験の合格を目指します。	1 通	60	2	○		
○			情報リテラシー	パソコンを有効に利用するためにはどうすればいいかを、その体系と分類について学習する。	1 前	30	1	△		○
○			デジタルメディア概論	クラウド・スマートフォンなどコンピュータ関連の最新の技術について学習します。	1 後	30	1	○		
○			プレゼンテーション技法	報告、提案の説得技術を学習し、発表の構成の仕方、発表方法について学習します。またプレゼンテーションツール操作の実習も行います。また、就職・編入（進学）のための学習もします。	1 通	60	2		○	
○			コミュニケーション技法	社会人として、会議や打ち合わせ、プレゼンテーションにおける話し方や会話の仕方を学習します。実際にディベートや集団面接、討論会などを行います。	2 通	60	2		○	
○			アルゴリズムとデータ構造	アルゴリズムはすべてのプログラムの基礎となるものです。再利用性の高いプログラムを作るため、さらにはコンピュータの思考を理解するために必要な知識を習得します。早く合理的に作業ができる手順を考える思考方法を学習します。また、国家資格の基本情報技術者試験の合格を目指します。	1 通	60	2	○		

授業科目等の概要

(工業専門課程 情報処理システム科 Aコース) 平成27年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法		
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技
○			アプリケーション構築概論	コンピュータシステムやアプリケーションの開発手法について概観する。ビジネスの場で使用されている IT 戦略とマネジメントについても学習する。	1通	60	2	○		
○			C言語 I	システム開発用の基本的な言語であるC言語の基本を学習する。実際にプログラミングしてみて実機での確認を行うと共に、開発の基礎を学ぶ。	1通	60	2	△		○
○			オブジェクトプログラミング I / II	オブジェクト指向プログラミングについて企業ニーズに合わせた言語を使用して基礎から実践的にプログラミングをしていく。現在は、言語に Javascript を使っている。	1通	120	4	△		○
○			卒業研究	個人または、グループで企業ニーズに合ったシステム開発や作品制作を行う。実際に仕様書から設計書を書いて、企業の現場を意識した開発を行っていく。	2通	180	6			○
		○	物理	力学、力と運動、回転運動と剛体、波動、熱電流と磁場、振動する電磁場などの気象予報士の資格に必要な知識を学習します。	1通	60	2	○		
		○	アセンブラ言語	基本情報技術者試験の午後に出題される言語のひとつであるアセンブラについて学習します。	1前	30	1	△		○
	○		C言語 II	C言語 I で学んだことを基礎にして C言語の応用について学習する。プログラミングでは開発の実践力を身に着けることを目指す。	2通	60	2	△		○
	○		Javaプログラミング I / II	Java の基礎から開発手法を学び、JavaApplet、Java サーブレットなどのアプリケーションの開発手法を学びます。2年次では、スマートフォン (Android) の学習もします。	12通	120	4	△		○
	○		Javascript	Web ページ内の表示をアニメーションで切り替えたり、ボタンの押下に合わせて表示のオン・オフを制御したりといった「ページ内での動的な表示切り替え」を行いたいような際に使用する技術を学びます。また、Ajax や Jquery の学習もします。	2通	60	2	△		○

授業科目等の概要

(工業専門課程 情報処理システム科 Aコース) 平成27年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時数	単 位 数	授業方法		
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技
		○	Windowsシステム (MCP)	WindowsServer の基本知識からインストールを行い環境設定、ネットワーク設定、セキュリティ設定、サーバ構築などの技術を学びます。	1通	60	2	△		○
	○		UNIXシステム (Linux)	Linux について基礎的な知識と OS のインストールから環境設定、セキュリティ設定、ユーザ設定、LAN への接続などをコマンドラインで操作ができるようにし、Linux 技術者認定試験 LPIC レベル1の資格取得を目指します。	2通	60	2	△		○
	○		e-コマース	e-commerce / エレクトロニックコマースインターネットなどのネットワークを利用して、契約や決済などを行う取引形態のことです。従来から企業間の取引の一部はEDI などの技術を使って電子化されていましたが、インターネットが一般消費者に普及していく社会のしくみを学習します。	2後	30	1	○		
	○		セキュリティ概論	コンピュータ技術者として情報セキュリティ対策をどのように行えばよいか、国際標準に関する知識、ガイドラインなどを学びます。	2後	30	1	○		
	○		VBA I (Excel)	毎日のパソコン業務には、同じ手順の繰り返しが多いです。そして、単純な繰り返し作業の中にEXCEL の関数やマクロを使い定型業務がより早く簡単にできるように学習します。	2前	30	1	△		○
	○		VBA II (Access)	このVBA の基本や、実際の業務に役立つプログラムの作成方法について学習します。例えば、日報や週報から月報へ自動転記させ、給与システムへの連動データを作成する。小口現金の請求書から仕訳データを作成する一般業務作業の中で作業の自動化を行う。	2後	30	1	△		○
	○		Webサイト構築	Web サイトそして必要な機能（ホームページサービス・メールサービス・FTP・Telnet サービスなど）を構築するための技術について学習します。また、実際にWebサイトを構築します。	2通	60	2	△		○
	○		Webシステム開発 I / II	Apache、MySQL、PHP を利用してサーバアプリケーションの開発手法を学習し、実践的なサーバアプリケーションの開発手法を学習します。	2通	120	4	△		○
	○		Webプログラミング	JavaScript とは Web ページを記述する言語の一つです。そのJavaScript やCSS 技術などを含めたホームページの総合的なデザイン、プログラミングについて学習します。ウェブサイトにはさまざまな機能や動作や加え、為替や株価といった時刻によって変化するデータや、アンケートやユーザ登録ページといった動きのあるページの作成をするものです。	2通	60	2	△		○

授業科目等の概要

(工業専門課程 情報処理システム科 Aコース) 平成27年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時数	単 位 数	授業方法		
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験・ 実 習・ 実 技
		○	簡易言語	表を作成し、データの集計や分析を行うことができるソフトウェアを表計算ソフトと呼びます。数値の合計を自動的に計算したり、多数の関数があります。実際にEXCELを使用して表計算ソフトを学習します。	1 通	60	2	△		○
	○		ネットワークシステム I / II (CCNA)	サーバ、ネットワーク機器の設定から回線・VPN構築といったインフラまわりまで、止まることのない快適なネットワーク環境を実現するための技術を基本から学ぶ。	12 通	240	8	△		○
	○		データベース I / II (Oracle)	大量のデータを管理するのに必須のデータベースについて利用者として必要な概念と、操作方法を学習し、開発者として他のプログラムと連携の基礎知識を学ぶ。	12 通	120	4	△		○
	○		ホームページ制作	HTML5/CSS2/CSS3 を使ってホームページ制作の基礎を学習します。ホームページの仕組みを理解させるためにプログラミング中心で行います。	1 通	60	2	△		○
		○	電子工学 / 電気回路	有線電気通信設備を構成している電気回路、電子回路の理論を学びます。	1 通	120	4	○		
		○	有線電気通信工学	有線電気通信設備の端末設備に利用される技術を基礎から学び、通信設備と接続するための知識を習得する。	1 前	30	1	○		
		○	データ通信工学 / デジタル回路	データを伝送するための知識を基礎から学び、デジタル伝送に必要な回路構成等を学ぶ。	1 通	60	2	○		
	○		インターンシップ	学校では学べないビジネスマナーや実践的な業務に従事し、社会人としての実践力を身に着けます。	2 通	120	4			○
合計										
					科目	2520 単位時間(単位)				